

第6回校内研究授業 道徳科 第5学年2組

令和元年11月20日(水)

主題名「広い心で」

(相互理解・寛容)

教材名「名医、順庵」



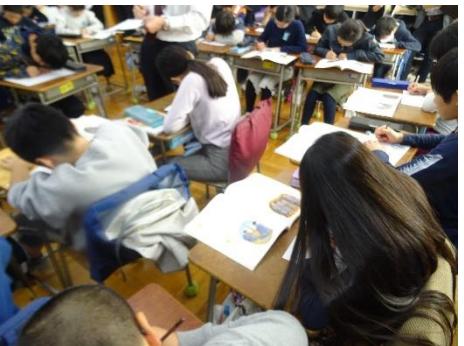
①「広い心」を持っている人ってどんな人だと思いますか。



②順庵に声を掛けられたときに、本当のことを言えなかつた孝吉は、どのようなことを考えていたでしょう。



③孝吉を自分の部屋に連れて行くとき、順庵は孝吉のことをどう思っていたのでしょうか。



④孝吉の話を聞いて、順庵はどんなことを考えたでしょう。



⑤最初に考えた「広い心」について、付け足すことはありますか。



⑥あなたは今までに人の過ちや失敗を許したことや、自分の過ちを許してもらったことがありますか。



⑦相田みつをの「セトモノ」を聞く。

<「深い学び」の実現に向けての手立て→発問を精選する>

- ・児童が考えたり発表したりする時間を十分に確保することで、「広い心」について考えを深めたり、広げたりすることができるようとする。
- ・中心発問をした後、「広い心」について再び考えさせる時間を設けることで、自分の考え方方が変わったところや、新しく気付いたことについて共有できるようにする。

児童の反応

- ・母のためにやったことだから許そう。
- ・孝吉の異変に気づけなかった自分にも責任がある。
- ・相談してくれれば良かったのに。

<本時のねらい>

○順庵と孝吉のかかわりのなかでの順庵の思いを考えることを通して、互いに認め合うために相手の立場や気持ちを受け入れ、広い心で人と接しようとする心情を育てる。